

産業建設常任委員会記録

令和2年11月25日

【開催日】 令和2年11月25日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午後1時40分～午後2時

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	藤岡修美
委員	岡山明	委員	高松秀樹
委員	恒松恵子	委員	森山喜久
委員	宮本政志		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

副議長	矢田松夫
-----	------

【執行部出席者】

副市長	古川博三	経済部長	河口修司
公営競技事務所 長	桶谷一博	公営競技事務所 副所長	安重賢治
建設部長	森弘健二	建設部次長兼下 水道課長	井上岳宏
下水道課課長補 佐	西崎大	人事課主幹	光井誠司
人事課給与係長	室本祐		

【事務局出席者】

局長	尾山邦彦	書記	光永直樹
----	------	----	------

【審査事項】

- 1 議案第113号 令和2年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第2回）について

2 議案第116号 令和2年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算（第1回）について

午後1時40分 開会

中村博行委員長 それではただいまより産業建設常任委員会を開催いたします。

今日の審査内容はお手元にありますように議案2件であります。最初に審査番号1番、議案第113号、令和2年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第2回）について説明してください。

桶谷公宮競技事務所長 議案第113号令和2年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第2回）について御説明します。今回の補正は、国の人事院勧告に準じた給与改正と人事異動に伴う調整を行うものです。最初に予算書の1、2ページをお願いします。今回の人件費の増額分につきましては、予備費を減額して調整していますので、予算総額の変更はございません。それでは5、6ページをお願いします。この度の給与改正は、期末手当の支給月数を年間2.6月から0.05月引き下げ、2.55月としています。12月支給分から適用されます。この改正により、関連する予算は9万3,000円の減額となります。一方、人事異動に伴う調整分は62万5,000円の増額となり、これらを合わせますと総額で53万2,000円の増額となります。これらの財源を確保するため、下段の3款1項1目予備費を同額減額して調整しております。補正予算の説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いたします。

中村博行委員長 説明が終わりましたので、質疑を求めます。

宮本政志委員 先ほど人事異動っておっしゃったんですけど、異動について詳しくお聞きしていいですか。

光井人事課主幹 この人事異動の部分っていうのが、当初予算を組むときに職員を特定せずに金額を決めて予算を作りますので、実際人が動いたっていう異動は今回はないです。

高松秀樹委員 人勸0.05か月分で9万3,000円の減額ですけど、人数で言ったら何人分になるんですか。

桶谷公営競技事務所長 人数は5人になります。

森山喜久委員 人数5人の分は正規職員分の人数5人ということで、会計年度任用職員とかの分はまた別ということの理解でよろしいですかね。

桶谷公営競技事務所長 一般職員が4名、再任用が1名、合計5名でございます。

光井人事課主幹 少し補足しますが、再任用については今回人勸がなかったので、人勸の対象なる人数としては4人です。再任用は月額の変更はなかったので、人勸には関係ありませんので、人勸の対象人数は4人です。正職員の4人だけになります。もう1人いらっしゃる再任用職員は、人勸部分は変更ありません。

高松秀樹委員 月額9万3,000円の減額は4人分の減額だということですよ。先ほど5人分とおっしゃいましたが、4人分に訂正ということですね。（「はい」と呼ぶ者あり）

中村博行委員長 それでは質疑を打ち切ります。それでは討論はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）採決に移ります。それでは、議案第113号令和2年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第2回)について賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

中村博行委員長 全員賛成です。したがいまして議案第113号は可決するものと決しました。お疲れ様でした。それでは審査番号2番議案第116号、令和2年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算(第1回)について説明を求めます。

井上建設部次長兼下水道課長 それでは、議案第116号令和2年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算(第1回)について御説明いたします。今回の補正は、令和2年4月1日付け人事異動と国の人事院勧告に伴う人件費の調整等によるものです。補正予算書の1ページを御覧ください。第2条の収益的収入及び支出でございますが、収入総額である下水道事業収益は、支出の財源となる一般会計補助金等を50万3,000円増額し、18億8,376万9,000円とするものです。支出総額である下水道事業費用は、人件費の調整として50万3,000円を増額し、18億3,984万4,000円とするものです。次に第3条の資本的収入及び支出でございますが、収入総額である資本的収入は、支出の財源となる一般会計出資金を307万2,000円減額し、16億8,150万6,000円とするものです。支出総額である資本的支出は、人件費の調整として307万2,000円を減額し、24億4,484万円とするものです。これら補正予算の詳細につきましては、補正予算書14ページ以降の明細書に掲載しておりますので、御確認ください。次に、第4条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費を、人件費の補正に伴い、減額補正するものです。次に、第5条は、一般会計補助金の補正に伴い、増額補正するものです。なお、今回の補正予算を反映させた予定キャッシュ・フロー計算書を6ページに、給与費明細表を7、8ページに、予定貸借対照表を10、11ページに、予定損益計算書を12ページに掲載しておりますので御確認ください。以上、下水道事業会計補正予算の説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

中村博行委員長 説明が終わりましたので質疑に入りますが、先ほどありましたように6ページ以降も含めて全般から行きましょう。そして質問のときに何ページのどの項目ということだけで言っていればと思います。

森山喜久委員 最初に8ページの給料の部分と手当の部分で、手当の減額が26万3,000円が今回の人事委員勧告の一時金の減額かなというふうに思いますが、給料のほうでその他の増減額、マイナス532万9,000円はその前のページにある人事異動で人が減ったということによろしいでしょうか。

井上建設部次長兼下水道課長 そのとおりでございます。

森山喜久委員 ちなみに1人減ったのかなというふうに思いますが、その分で業務のほうに支障はないということによろしいですか。

井上建設部次長兼下水道課長 支障がないかといえば、みんなが頑張ってくれておりますので何とかやっております。

宮本政志委員 6ページの2の国庫補助金による収入で5億3,753万9,000円、これは要望額そもそも大体何割ぐらいでこの額ですか。6割とか8割とか。

西崎下水道課課長補佐 令和2年度の国庫補助金なんですけども、要望額に対しまして100%回答いただいております。ちなみに、前年度からの繰越分も含めて5億3,753万9,000円となっております。

宮本政志委員 大体平均で見たら、6割とか8割とかで通年来ていると思うんですけど。

西崎下水道課課長補佐 他市の状況も確認したんですけども、やはりどこも1

00%、この近年付いておるようでございます。これが来年度もかというとかじゃありません。そういう状況でございます。

高松秀樹委員 明細書の14、15ページで、それぞれ管渠費、処理場費、総係費の中で、期末手当が減額になっているんですが、それぞれ何人分がそれぞれ減額になっているのか。

西崎下水道課課長補佐 職員数が管渠費が2名、処理場費が1名、総係費が5名、次16ページの建設改良費にもあるんですけども、こちら技術職員でございます。こちらが6名。ですので、それら職員分の手当の増減等々ということになっております。

高松秀樹委員 例えば、処理場費、期末手当1名で34万1,000円、こんなに減額だったんですか。1人が。期末手当なくなるよ。

西崎下水道課課長補佐 先ほど申しましたのが一般職員の人数でございます。申し訳ありません。処理場費なんですけども、一般職員が1名、再任用職員が1名、会計年度職員が1名、合計3人分の増減でございます。ちなみに言いますと、管渠費、職員2名と申しましたが、会計年度職員が1名おります。総係費が職員数5名と言いましたが、会計年度職員が1名おります。以上の職員等々によります増減になっております。

高松秀樹委員 間違っていないんでしょうけど、これ0.05%減なんですよ。35万9,000円とか34万1,000円減額になっているんですけど、そんなに今期末手当をもらってらっしゃるんですか。

古川副市長 多分これが人事異動に伴うものと人勧に伴うもので、当初予算に付いていた職員より給料の少ない職員がここに張りついた結果だろうというふうに考えます。給料も下がっているから、期末手当も下がるということですよ。

藤岡修美副委員長 16ページの建設改良費の時間外が割と192万円と大きいんですけど、これはやっぱり1名減の影響と考えていいですか。

西崎下水道課課長補佐 1名減の影響もありますし、先ほど話しましたが、国費が100%付いたということもあります。事業費が増えておりますので、その分、1人当たりの職員に対する工事の割合も増えておるということで、時間外手当を増額させていただいております。

中村博行委員長 一般会計からトータル、結局どのぐらいの出しというか、出資金やら補助金、負担金を絡めてトータルどのぐらいありますか。

西崎下水道課課長補佐 一般会計からの繰入金でございますが、繰入金幾らって書いてあるところはないので、ちょっと申し上げたいと思います。12ページをお願いします。損益計算書を掲載しております。1、営業収益の(2)雨水処理負担金1億1,939万7,000円と3、営業外収益(2)他会計負担金5億9,743万2,000円、それと(3)他会計補助金、5,949万6,000円、それと、また別の場所になりますが、5ページ収入の出資金、他会計出資金の合計の補正後の計のところでは3億,974万8,000円。合計が11億7,381万1,000円となっております。当初予算から256万9,000円の減額となっております。

中村博行委員長 ほかはよろしいですかね。それでは質疑を打ち切ります。討論ございますか。討論はありませんので、採決に移ります。議案第116号令和2年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算(第1回)について、賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

中村博行委員長 全員賛成です。したがいまして、議案第116号は可決すべきものと決しました。以上で産業建設常任委員会を閉じます。お疲れ様でした。

午後2時 散会

令和2年11月25日

産業建設常任委員長 中村博行